

新刊書紹介 昨年中国で出版された水生植物に関する
2冊

- (1) 中国科学院武漢植物研究所編：中国水生維管束植物
図譜 20×14cm 683頁 1983年8月 湖北
人民出版社 2.75元 (1380円で購入)
- (2) 顔素珠編：中国水生高等植物図説 19×13.5cm
335頁 1983年11月 科学出版社
2.30元 (1200円で購入)

(1)の図譜は、見開き右頁に線画、左頁に解説があつて、61科145属317種が載せられている。ミズニラ、トクサ (いずれも中国種) に始まり、かなり広い範囲の沈水、浮遊、浮葉、挺水及び沼生 (湿生) 植物が収録されている。例えば、シダ植物のハナヤスリ、ヤマドリゼンマイ、ヒメシダやハッカ、ミズトラノオ、カワジサ、ウリクサなど湿地生のシソ科、ゴマノハグサ科の多くの種が収録されているのが特徴的で、*Victoria* など園芸種にまで及んでいる。

タヌキモ科にも、浮遊生の4種に加えてミミカキグサ2種 (*U. bifida*, *U. racemosa*) と1変種が収録されている。更に、モウセンゴケ科ではムジナモの他に *Drosera* が3種 (*D. indica*, *D. rotundifolia* 但し、図はナガバノモウセンゴケ、*D. spathulata*) 加えられているのも初めての所見である。いくつかの属についての検索表も付いている。

因みに、大滝先生の「日本水生植物図鑑」に含まれていない科名のみを挙げておく。

〔双子葉植物〕キク科、クマツヅラ科、ヒルガオ科、リンドウ科、サクラソウ科、ミズハコベ科、ホウセンカ科、マメ科、ナデシコ科、ヒユ科、ドクダミ科

〔単子葉植物〕タシロイモ科、イグサ科、タヌキアヤメ科、トウエンソウ科、レースソウ科

〔シダ植物〕オシダ科、ゼンマイ科、ハナヤスリ科

〔コケ植物〕は収録されていない。

(2)の図説は、総説、検索表 (生活型に従って) に続いて54科120属295種が収録されている。そのうちにミズゴケなどを含めたコケ植物17種、シダ植物8種、海生のものなどを含む。科の配列は(1)とほぼ同じで、下等から高等へと並べられ (エングラウの分類体系)、大滝先生の図鑑とは逆配列となっている。科ごとに属の検索、そして種の検索と種ごとの記載と線画がぎっしりとつめこまれており、分類はかなり精細にわたっている。例えば、ヒシ属は(1)では4種が収められているのに較べ、

本書には11種も区別されている。その他、ヒルムシロ属14種も多く、最後にシャジクモ科3種も加えられている。

タヌキモ科は浮遊生の5種 (*U. gibba*, *U. exoleta*, *U. minor*, *U. aurea*, *U. intermedia*) のみで、ミミカキグサ類は載っていない。モウセンゴケ科もムジナモ1種のみである。

〔(1)にも見られない科名〕ゼニゴケ科、ミズゴケ科、ヤナギゴケ科、トウダイグサ科、ヒルギ科、シクンシ科、ヤブコウジ科、キツネノマゴ科、キキョウ科、ヤシ科
〔(1)にあつて(2)にない科名〕トクサ科、ハナワラビ科、ゼンマイ科、オシダ科、ナデシコ科、マメ科、ホウセンカ科、ミズハコベ科、ミソハギ科、サクラソウ科、ツユクサ科、トウエンソウ科、タシロイモ科、アヤメ科

(小宮 定志)

○文献リスト<1983-(4)>

薄葉 満。福島県の興味ある水生植物, I. フロラ福島。No.2:41-45.

江島龍也。水草覚え書き。佐賀の植物。No.19:21-24.

木村中外・小川 茂。セキシウモ (*Vallisneria natans* (Lour.) Hara) の雄花花被片細胞にみられる赤色顆粒について。宮城の植物。No.10:1.

坂口清一。香川県のヒシ属の調査報告第2報。香川生物。No.11:35-39.

富久保男。水生雑草ホテイアオイの防除と利用。農業および園芸。58:1043-1048.

浜島繁隆。濃尾平野における農業用水路の水生雑草の分布と2, 3の環境要因。雑草研究。28:266-270.

山岸 淳。ミズガヤツリ—その生態と防除法について。雑草研究。28:243-259.

Beppu, T. & A. Takimoto. Flowering behavior of the hybrids between strains 6746 and 371 of *Lemna paucicostata* Hegelm. Aquat. Bot. 17:295-299.

Ito, O. & I. Watanabe. The relationship between combined nitrogen uptakes and nitrogen fixation in *Azolla-Anabaena* symbiosis. New Phytol. 95:647-654.

Kondo, T. Phase shift in the Potassium uptake

- rhythm of the duckweed *Lemna gibba* G3 caused by an Azide Pulse. *Plant Physiol.* 73: 605-608.
- Kunii, H. Diurnal vertical fluctuations in some water variables under the covers of two different aquatic plants, *Elodea nuttallii* and *Trapa* sp. *Mem. Fac. Sci., Shimane Univ.*, 17: 61-69.
- Muramoto, S. & Y. Oki. Removal of some heavy metals from polluted water by waterhyacinth (*Eichhornia crassipes*). *Bull. Environ. Contam. Toxicol.* 30: 170-177.
- Oota, Y. Physiological structure of the critical photoperiod of *Lemna paucicostata* 6746. *Plant Cell Physiol.* 24: 1503-1510.
- Satake, K., M. Soma, H. Segawa & T. Uehiro. Accumulation of mercury in the liverwort *Jungermannia vulcanicola* Steph. in an acid stream Kashiranashigawa in Japan. *Arch. Hydrobiol.* 99: 80-92.
- Takeuchi, Y. & U. Kishimoto. Changes of adenine nucleotide levels in *Chara* internodes during metabolic inhibition. *Plant Cell Physiol.* 24: 1401-1409.
- <1984-(1)>
- 片山敏雄. 食虫観察記〔5.イトタヌキモの越冬法〕
食虫植物研究会誌. 35: 9-11.
- 小林登史夫. 日本国内のP(リン)のマスバランスとホテイアオイの役割. ホテイアオイ研 Newsletter No.3: 7-8.
- 小堀 弘. ムジナモに及ぼす水位の影響について. 食虫植物研究会誌 35: 11-12.
- 小宮定志. 新・食虫植物の進化論. 食虫植物研究会誌 35: 1-7.
- 芝山秀次郎. 東南アジアにおけるホテイアオイ等の水生雑草問題. 一タイの状況を中心として— ホテイアオイ研 Newsletter No.3: 2-3.
- 島野好次. 多々良沼干拓地内の水生植物. 野草 No.397: 42.
- 清水正元・梶田聖孝. ホテイアオイの利用と栽培施設の開発(予報). ホテイアオイ研 Newsletter No.3: 4-7.
- 菅 洋. 浮稲は洪水に遭うとなぜ伸びるのか? 農業および園芸. 59: 23-28.
- 浜島繁隆. 愛知県産スプタ属. レポート日本の植物 No.20: 187.
- 林 浩二. 一年生浮葉植物の生活. 遺伝 38(4): 6-11.
- 松沢篤郎. 群馬県館林市、多々良沼及び周辺の植物. レポート日本の植物 No.20: 190-191.
- 村田 源. 深泥池の植生と植物相. 遺伝 38(1): 91-97.
- 矢部 晨. 走査電子顕微鏡でみた水生植物の通気道. 遺伝 38(4): 口絵.
- 山口 聡. オニバス—福岡県下の新産地. レポート日本の植物 No.20: 185.
- Sakano, K., T. Shimmen, S. Hatanaka & M. Tazawa. Distribution of Isoasparagine among different Characean species. *Bot. Mag. Tokyo* 97: 81-85.
- Sastroutomo, S. S. Classification and ordination of aquatic vegetation in Lake Aino-numa, Miyagi. *Ecol. Rev.* 20: 205-222.
- 補遺<1976—1982>
- 坂口清一, 1982. 香川県のヒシ属の調査報告 第1報. 香川生物 No.10: 13-17.
- 高屋武彦・本田太陽・伊藤昌光・阿部 林, 1981. 飼料作物としての「マコモ」の水田栽培. 農業技術 36: 398-402.
- 渡辺 巖. アカウキクサーラン藻の共生による生物的窒素固定とその利用. 日土肥誌 52: 455-464 (1981).
- 水草関係文献目録(8)
- <1969 つづき>
- 金井典美. 古典のなかの植物(2)国生み神話とアシ. 植物と自然 3(7): 6-7.
- 久保田秀夫. ミズバショウとザゼンソウおそびその仲間. 新花卉 62: 52-55.
- 阪本祐二. はす. 新花卉 62: 5-11.
- . ハスの連根形成について=豊田清修氏の説に反論する= 植物と自然 3(2): 14-17.
- 桜井 元. 野にある水草. 新花卉 62: 26-29.
- 篠原尚文. 光合成測定実験の工夫と発展. 科学の実験